

公民館だより

# さくらぎ

平成20年5月号  
No. 242

桜木公民館  
周南市城ヶ丘2-4-21  
TEL 0834 (28) 5973  
FAX 0834 (29) 0788



心豊かに

たくましく育て欲しい

～地域住民の願いです～



## 人づくり 百文字提言

保護者代表挨拶（要旨） 原田優子様

子ども達が危険にさらされる事の多い昨今ですが、先生方はじめ、地域の皆様、私達保護者の三者が協力し、この子らを優しく、温かく見守って共に成長したいと思います。親子共々ご指導くださるようお願いいたします。

# 4月の活動記録簿

4/9 桜木小学校入学式  
入学児童64名

青空高く  
鯉が舞う



- 写真 1、受付風景  
名前の確認と教室までの案内があります
- 写真 2、  
お母さんと子どもとのくつ箱さがしが大変です
- 写真 3、登校風景  
校門が近づくとだれもが緊張します。
- 写真 4、校門で記念撮影

PTA会長あいさつ

《入学生のみなさんへ》

- ・ 集団登校に遅れないよう早起きしましょう
- ・ 元気よく、いい顔をしてあいさつをしましょう
- ・ 学校でたくさんの方達の友達をつくりましょう

《保護者のみなさんへ》

- ・ 地域や学校と可能な限り関わってください
- ・ PTA行事、子ども会活動に参加して親同士のコミュニケーションを深めてください



## とまの山「語録」

- \* ホワイトデー前、かえす相手もいなくて一人さびしく登山 (3/13)
- \* 風なく 海しずか。 船も波もお休みのような春景色。  
汗 だまっいても ポタポタ (6/1)
- \* きれいに整備して頂いてありがとうございます。初めて登りましたが、ながめが最高でした。こんな近くに こんな穴場があるなんて 驚きでした。(9/30)
- \* メタボのてっちゃんです。2ヶ月前にあと少しの所でリタイア。2ヶ月間毎日少しずつ歩いて本日リベンジ。息はあがったけど楽勝でした。また、2ヵ月後に登ってみます。(10/13)
- \* 娘と2人で登りました。体力が落ちています。沢山のひととすれちがいました。あいさつが気持ちよかったです。(11/25)

## データバンク

どちらから来られましたか? ※数字は件数

【市 外】 下松 15・光・岩国各 1      【県外】 長崎 2・北九州・愛知・東京各 1

団体さま

下松花岡「楽山会」      セラヴィ登山隊結成記念  
 徳山高専野球部      徳山サッカー部      防長山岳会  
 徳山中央幼稚園      A I K O 幼稚園年長組      あそぼう会  
 光あいぱーく中年おばさんの集い      周陽いきいきクラブ      他 5 団体



運営委員さんによる

《リレー方式》

# 『フラダンス』

← 次回は...

今年度から講座の仲間入りのした「フラダンス」を紹介します。

最近では、映画（フラガール）のヒットもあり、すっかりお馴染みになったフラダンスですが、ご存知のとおり、発祥はハワイです。フラダンスは、ハワイで当時使われていた『手話』が元になって生まれました。

講師は、村岡千枝子先生 現在会員27名です。

人生には思いがけず日常を変えられるきっかけがあります。

フラダンスは、花、風、月、星、そして人の心を音楽に合わせて腰や手足をしなやかに、優雅に動かし表現していく踊です。そこには、あなたが驚くような可能性と心の豊かさ、女性らしさの発見があるかも・・・?!

（ 運営委員 宮本 寿美江 ）

※講座開催日

第二・四水曜日

13時～14時30分

とおの山山頂に設置している『登山記念記載帳：やまびこ1号、2号』に記載されている皆様方の温かい声をご紹介します。

## 【 登山者の人数 】

平成 16 年	1 月 1 日	～	平成 16 年 12 月 31 日
	1 日平均	:	5. 53 人
平成 17 年	1 月 1 日	～	平成 17 年 12 月 31 日
	1 日平均	:	2. 28 人
平成 18 年	1 月 1 日	～	平成 18 年 12 月 31 日
	1 日平均	:	3. 27 人

平成 19 年 1 月 1 日 ～ 平成 19 年 12 月 31 日  
**1 日平均 : 3. 50 人**

※「やまびこ」記載事項から

話 したくしょうがない

話



①

～絶景かな 絶景かな～

桜木公民館二階の和室から鑑賞する桜は、正に絶品。「これぞ、桜！」です。

二階の窓を覆い隠す無数の花びらは迫力満点。一様に「ウウ～!!」と感嘆の声があがります。

(写真・1) 玄関掲示板的「花だより」に誘われ、二階和室の「特別棧敷席」で花に酔われる人、人、人。

(写真・2) 目線の高さに迫る花のオーラに魅せられてか、心静かに、穏やかに退席されます。花に酔い、感極まって、障子には桜の花びらが残されていました。



②



「サクラギソウ」(和名)とは珍しい。いかにも桜木地区に縁がありそうな名のついた花です。今、桜木公民館で見事に咲いています。フクロナデシコ、又は、シレネの名でご存知の花だと思えます。地中海沿岸が原産地ですが、花びらの形や色が桜に似ています。花弁の下にある縦縞模様のふっくらとした大きな袋に親しみを感じます。

《俳句コーナー》  
野仏に たんばばの絮 からみ舞ふ

子の守りは 夫に任せて 母の日や

赤々と 漁船染めて 春夕日

紫雲英野を 故郷に採して 摘みまぬ

水溜めて 朝日に零る 葱坊主

(一洋)

5月 さくらぎカレンダー

- 1日(木) 講座運営委員会 (9:30~10:30)
- 11日(日) 地区コミュニティ総会 (18:00)
- 13日(火) 地区社協総会 (13:00)
- 17日(土) 地区婦人会総会 (9:30)

【 雑記帳 】

「水辺まで馬を誘導するのはたやすいが、馬に水を飲ますことは至難の技である。」

これは、中国の古い言葉だそうです。イギリスの諺にもあることから、教育の難しさ、人をその気にさせることの難しさは、どの国も同じようです。

女子マラソンの小出義雄監督は、バルセロナ五輪の銀メダリスト有森裕子選手、シドニー五輪の金メダリスト高橋尚子選手を育てたことでもありにも有名です。

二人とも最初から優れた選手だったわけではなく、ペタペタ走りの不器用な選手だったそうです。小出監督は二人の長所を見抜き、有森選手には「坂道の下り方がうまい」と言い、高橋選手には「腕の振り方がうまい」とほめることで、『馬に水を飲む気させた』と言われています。しかし、彼女たちは、メダル獲得後、小出監督から独立していきました。彼女たちは、『自分で水を飲む力』を学びとっていたからでしょう。

桜木公民館には、20年以上続く講座が12もあります。20年も同じ勉強を続けている達人が、50人はおられる助定です。外から与えられる「アメとムチ」ではなくて、自分の内から湧き出る「やる気」の奥義を、ぜひご教授いただきたいものです。